

令和3年度

ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業

「ふるさと文化の伝承・発信サポート事業」

## 利用の手引き

兵庫県には、各地で伝えられる伝統芸能や生活文化、郷土の歴史にまつわる人物やその伝承など、地域固有の魅力的な文化資源が数多く存在します。本制度では、これらの文化資源を生かし、地域をあげてふるさとの魅力発信に取り組む事業を推進します。

対 象：令和3年4月1日～令和4年3月31日に実施完了する事業

受 付：令和3年5月21日(金) まで

○郵送にて受け付けます。

### <目 次>

- 1 事業の内容……………1
- 2 申請から補助金交付までの手続き……………5
- 3 申請書記入例、様式……………8

# 1 事業の内容

## (1) 事業の趣旨

兵庫県には、各地で伝承されている伝統芸能や郷土色豊かな生活文化あるいは郷土の歴史にまつわる人物やその伝承など、地域固有の魅力的な文化資源が数多く存在します。

本事業は、県内に活動拠点を有する団体等が、地域の文化資源を生かして県内で新たに実施する芸術文化活動をサポートすることによって、ふるさとへの愛着や誇りを高め、地域の文化資源を保存・継承するとともに、地域独自の新しい芸術文化の創造・発信に向けて地域をあげて取り組んでいく機運の醸成を目的としています。また同時に、広く県民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、芸術文化の振興に資することを目指します。

## (2) 補助対象となる事業実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日（完了すること）

\* 同事業について最長3年間まで申請ができます。

\* 1年目に3年間の事業計画を立ててください。

\* 2年目、3年目の申請も、内容を審査したうえで、当該年度の予算、事業趣旨に応じて決定することとします。

## (3) 補助対象者

県内に拠点を置く団体で、以下に掲げるいずれかとします。

① 芸術文化団体、保存団体、NPO法人、グループ等の団体で、主として地域住民等の参画によって運営されているもの

② 当該事業を実施するために地域住民等の参画によって設立された実行委員会

○「地域住民等の参画」とは、地域が自ら主体的となって事業を実施することであり、地域住民のほか、地域団体、公民館、公共団体(県を除く)、商店街等の参画も含まれます。

○実行委員会は、以下の要件を全て満たしている必要があります。

- ・会則等を有すること
- ・団体の意志を決定し、執行する組織であること
- ・自ら経理し、監査する等の会計組織を有すること

なお、申請時点で未設立の場合でも、代表予定者による申請を認めますが、採択された場合は、採択決定後30日以内に設立していただく必要があります。

### ■ 対象とならない者

- 1) 地方公共団体
- 2) 国・県・市町からの出捐により設立された団体
- 3) 民法第33条に該当する法人等のうち、国、県、市町からの50%以上の出捐により設立された団体。なお、市町や市町文化施設の実行委員会への参画は認めます。

#### (4) 補助対象となる事業

- ① 地域に根ざした伝統文化に関する事業
- ② 地域の文化資源を生かして実施する美術、音楽、演劇、舞踊、生活文化、文芸、伝統芸能 等に属する事業

(3)に示す団体が主体となり、伝統芸能など地域固有の文化資源を生かして発信・発表する上記①、②の事業で、県の審査会で認められた事業。

なお、原則として、新規事業を対象としますが、既存事業であっても新機軸を打ち出すなど事業拡充・発信力の充実が認められるものは対象に含めます。

(1 団体につき 1 事業を対象)

#### 《具体的な事業内容》

|             |  |
|-------------|--|
| 対<br>象      | <p>①地域に根ざした伝統文化に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○民俗芸能（だんじりフェスティバル、○○町獅子舞まつり等）</li><li>○大衆芸能（村芝居フェスティバル、農村歌舞伎公演等）</li></ul> <p>②地域の文化資源を生かして実施する美術、音楽、演劇、舞踊、生活文化、文芸、伝統芸能 等に属する事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○地域の歴史や伝承を題材にした演劇、演奏会、古典芸能等</li><li>○伝統的家屋等を会場とした美術展、いけばな展、茶会等</li><li>○地域固有の伝統的な建築物を利用した文化行事</li><li>○地域の文人にちなんだ文芸コンクール</li></ul> |
| 対<br>象<br>外 | <ul style="list-style-type: none"><li>○毎年実施している秋祭り、神事、例祭の類</li><li>○出版事業</li></ul>   |

#### ■対象とならない事業

- 1) 芸術・文化の振興に寄与しないとみなされるもの
- 2) 政治的・宗教的活動を目的としているとみなされるもの
- 3) 宣伝や営利を目的としたもの(主催団体が自ら出演料等をとる事業も含む)
- 4) 暴力行為、迷惑行為のおそれのあるもの
- 5) 文化祭などの校内行事や企業・学校・地域団体内のサークル・クラブ活動など、団体内部の行事とみなされるもの
- 6) 物品の製作を目的とした事業
- 7) 兵庫県の他の補助事業等から助成を受けている事業
- 8) 国の補助金や委託費等が支出される事業
- 9) その他補助にふさわしくないもの

#### (5) 補助金の額

(6)に示す「補助対象経費」の総額に応じた定額

| 補助対象経費の総額     | 補助金額（定額） |
|---------------|----------|
| 10万円以上 15万円未満 | 10万円     |
| 15万円以上        | 15万円     |

※補助金交付決定後の補助金額増額は認められません。

※補助金交付決定後であっても、収入金額、補助対象経費の支払実績等により、補助金額が減額となる場合があります。

**(6) 補助対象経費**

○当該事業の発信・発表に先だって必要な準備経費及び当該事業の発信・発表に直接必要な経費のうち、下表に掲げる経費で、補助対象となる事業実施期間に支出するものを対象とします。

○補助対象経費にかかる消費税は対象経費に含まれます。

○各経費の支払いにかかる振込手数料は、各費目に含めて計上してください。

| 科目     | 費目                                      | 費目の細目 (例示)   |
|--------|---|--|
| 事業開催経費 | 会場費                                     | 会場使用料(※利用料金が規定された貸し館施設に限る。地域住民が自由に使用できる公民館、集会所等は除く。) 附帯設備使用料(照明、音響、冷暖房使用料)、看板製作費 等 |
|        | 謝金                                      | 講師謝金、ゲスト謝金、選者謝金、通訳料、翻訳料、原稿執筆謝金、編集謝金 等 (※現金のみ対象。商品券、菓子折等は対象外。)                      |
|        | 音楽費                                     | 楽器使用料、作曲料、編曲料、写譜料、調律料、作詩料、録音料、楽譜製作料 等  |
|        | 文芸費                                     | 演出料、舞台監督料、プラン料(照明、音響、美術)、脚本料、振付料、デザイン料、著作権使用料 等                                    |
|        | 舞台費                                     | 舞台に必要な道具費、衣装レンタル代、音響費、照明費、舞台制作費、照明・音響・美術にかかる技術人件費 等                                |
|        | 人件費                                     | アルバイト賃金(会場整理、設営、撤去) 等  |
|        | 運搬費                                     | 道具運搬費、楽器運搬費、美術作品運搬費 等  |
|        | 材料費                                     | お茶代(茶会の場合) 等   |
| 事業運営経費 | 用具費                                     | 用具・衣装・備品(電子機器等、他の事業へ汎用性が高いものを除く)の購入、用具修繕代 等 (ただし補助金額の1/2以内とする)                     |
|        | 運営費                                     | 賞品代(参加賞、記念品、景品は除く)、保険料 等   |
|        | 旅費                                      | 交通費、宿泊費(食事代除く) 等   |
|        | 宣伝費                                     | 広告宣伝費(新聞、雑誌、駅貼り等)、立看板費 等   |
|        | 印刷費                                     | プログラム、作品集、入場整理券、チラシ、ポスター、募集要項、台本、封筒等の印刷費、図録印刷費 等 (いずれも無償配布の場合)                     |
|        | 発送費                                     | ポスター、チラシ、プログラム、募集要項、作品集、案内状等の発送費 等   |
| 記録費    | ビデオ制作費、写真整理費、記録テープおこし、記録活動に必要な消耗品の購入費 等 |  |

※実績報告時に、支払内容を確認するため支出書類等を提出していただきますので大切に保管しておいてください。（領収書、納品書、請求書、明細書等）  
確認項目：①支払者（補助申請者と同一名義に限る）、②発行者、③発行日、④内容（単価・個数など）、⑤金額 等

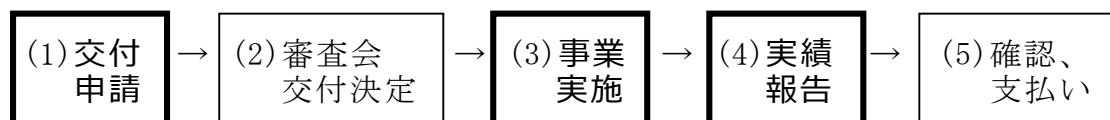
■補助対象とならない経費

- 1) 補助対象経費であっても、令和3年3月31日までに支払った経費  
(ただし、施設の規定に基づく会場使用料の前払いを除く。)
- 2) 補助対象経費であっても、実績報告において領収書等により支払いが確認できないもの
- 3) 商品券、図書券その他これに類するものの購入経費
- 4) 事業に必要な道具・用具類を除く備品購入費、施設等の建設・補修費
- 5) 他団体等への助成金、寄附金
- 6) 事業実施団体の構成員にかかる謝金、飲食費
- 7) 事業実施団体の組織維持にかかる人件費、事務費
- 8) レセプション、パーティー等の経費
- 9) その他、事業実施に直接必要と認められないもの

また、社会通念上、公金で賄うことがふさわしくない経費（飲食にかかる経費、レセプション、パーティー等の経費など）については、補助事業経費（その他事業にかかる経費を含む）としても記入できません。

## 2 申請から補助金交付までの手続き

《手続きの流れ》 ※太枠が事業実施者が行う手続き



### (1) 交付申請

- ① 受付期間 令和3年5月21日(金)まで 消印有効
- ② 提出方法 郵送にて受付けます。
- ③ 提出先・問い合わせ先  
兵庫県企画県民部知事公室芸術文化課 事業調整班  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（郵便番号を使うと住所の記載は不要です。）  
電話：078-341-7711（代表）内線2850

### ④ 提出書類

|   |                        | 申請1年目            | 申請2・3年目          |
|---|------------------------|------------------|------------------|
| 1) 補助金交付申請書（様式第1号）  |                        | ○                | ○                |
| 2) 誓約書（様式第1号の2）   |                        | ○                | ○                |
| 3) 補助事業計画書（別紙2）   |                        | ○                | ○                |
| 4) 収支予算書（別記）  |                        | ○                | ○                |
| 5) 事業の全体計画書（様式1-1、1-2）  |                        | ○                | ○                |
| 6) 申請者概要（様式2）   |                        | ○                | ○                |
| 7) 事前着手承認申請書<br>（事業着手予定日が令和3年7月31日以前の場合）  |                        | △<br>（左記に該当する場合） | △<br>（左記に該当する場合） |
| 8) 申請団体の会則、規約<br>（設立予定の場合は、規約・会員名簿の案を提出し、遅くとも「補助金交付決定通知書」受理後30日以内に設立のうえ、再提出してください。） |                        | ○                | ○                |
| 9) 過去の活動実績に関する資料<br>（既存団体のみ。新規設立団体の場合は不要）   |                        | ○                | —                |
| 10) 申請団体の会員名簿   |                        | ○                | ○                |
| 振<br>込<br>口<br>座  | 11) 債権者登録書             | ○                | △<br>（昨年度と変更の場合） |
|   | 12) 通帳写し貼付用紙           | ○                | △<br>（昨年度と変更の場合） |
|   | 13) 委任状（代表者以外の口座名義の場合） | △<br>（左記に該当する場合） | △<br>（左記に該当する場合） |

## (2) 審査会、交付決定

申請受理後、県が設置する審査会※において採択事業を決定し、補助金を交付する申請者に「補助金交付決定通知書」により通知します。

※ 審査会・・・本補助制度の趣旨に鑑み「①地域の文化資源の活用度、②地域との協働性、③事業の発信性」等を踏まえて審査し、採択事業を決定。7月開催予定。

## (3) 事業実施

事業実施の際は、当該補助事業である旨を、印刷物（ポスター、チラシ、プログラム）などに表記してください。

(表記例) 「令和3年度兵庫県ふるさと文化の伝承・発信サポート事業」

※ 交付決定前であれば、「令和3年度兵庫県ふるさと文化の伝承・発信サポート事業申請中」とするか、事業実施当日の配布物等に表記してください。

## (4) 事業内容の変更や中止について

### ①事業内容の変更等について

交付決定後、事業内容の変更や中止等があれば、次の書類をすみやかに提出してください。（提出前にご連絡をお願いします。）

- ・ 事業内容の変更（会場・期間の変更、もしくは補助対象経費の大幅な増減・事業科目の変更など）  
→「補助金変更交付申請書」（様式第3号）
- ・ 事業中止、補助対象事業ではなくなった場合  
→「補助事業中止（廃止）承認申請書」（様式第5号）

### ②やむをえない事情での事業の中止について

悪天候等のため、参加者の安全を配慮し、やむをえず事業を中止した場合は、事業中止までの経緯をあらかじめご連絡していただいたうえで、準備のための経費を計上してください。

## (5) 実績報告

補助事業完了後30日以内または令和4年4月15日のいずれか早い日までに、次の書類を提出してください。

|  |
|--|
| 1) 補助事業実績報告書（様式第8号）  |
| 2) 補助事業実績報告書（別紙2）  |
| 3) 収支決算書（別記）   |
| 4) 事業を実施したことがわかる書類<br>行事案内状、広報チラシ、プログラム、記録写真の原本、新聞記事（写し可）等<br>（当該補助事業である旨の表記がされた印刷物を含む。） |
| 5) 補助対象経費にかかる領収書、明細書、会場（施設）使用許可書 等   |
| 6) 補助金請求書（様式第10号）  |

※ 内容等がわかりにくい場合は、補助対象外経費を含む事業全体の支出書類等を調査させていただく場合がありますので、補助事業の関係書類はすべて大切に

保管しておいてください。)

※ 切手やはがき、レターパック等の購入費については、実績報告の際に、用途・送付先一覧（様式任意）が必要となります。

#### (6) 確認、支払い

報告内容を確認して、補助金交付の可否及び交付額を確定し、指定口座に補助金を支払います（ただし、補助事業で黒字が生じた場合、補助額は黒字額の範囲で減額します。）。悪天候等のため、参加者の安全を配慮し、やむをえず事業を中止した場合は、事業中止までの経緯をあらかじめご連絡していただいたうえで、準備のための経費を計上してください。

申請内容に虚偽があった場合や、実績報告の結果、補助要件に該当しないことが判明した場合には、補助金交付決定を取り消す場合があります。

### 3 申込書記入例、様式

消えない筆記具でご記入ください。  
(鉛筆、消せるボールペン等は不可)

様式第1号(第3条関係)

補助金交付申請書

提出書類は必ず一式コピーし、  
控えとして保管してください。

兵庫県知事様

第 号  
令和 年 月 日

日付けは空けて  
ください。

住 所 ○○市○○町○○1-1-1  
団 体 名 ○○町農村歌舞伎実行委員会  
代表者名 ○○ 太郎  
電 話 (000) 000 - 0000  
電子メール ○○○@○○.○○

押印は不要です。

本人確認のため、  
連絡先を記入し  
てください。

令和3年度において、ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業(ふるさと文化の伝承・発信サポート事業)による支援事業を下記のとおり実施したいので、補助金 円を交付願いたく補助金交付要綱第3条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の内容及び経費区分(別記)

2 事業の着手予定年月日 令和 年 月 日  
事業の完了予定年月日 令和 年 月 日

3 添付書類

日付けは空けて  
ください。

(別紙2)

ふるさと文化の伝承・発信サポート事業  
補助事業計画書(令和3年度事業)

|                  |  |  |  |
|------------------|--|--|--|
| 事業名              | (フリガナ) ○○チョウノウソンカブキフッカツコウエンジギョウ<br>○○町農村歌舞伎復活公演事業  |  |  |
| 主催者              | 団体名  | (フリガナ) ○○チョウノウソンカブキジッコウイインカイ<br>○○町農村歌舞伎実行委員会                          |  |
|                  | 代表者職氏名   | (フリガナ) ジッコウイインチョウ ○○ タロウ<br>実行委員長 ○○ 太郎                                |  |
| 共催等の<br>依頼先      | 共催：○○農村歌舞伎保存会<br>後援：○○町<br>協賛：   |  | 申請1年目の事業は1、2のいずれか、<br>申請2、3年目の事業は3を選択<br>1 新しく立ち上げる事業<br>2 既存事業であるが、内容等を<br>拡充して行う事業<br>3 R元、R2年度に補助を受けた事業 |
| 事業期間<br>(令和3年度)  | 令和3年4月12日(月) ~ 令和4年1月28日(金)  |  |  |
| 会場               | ○○町農村歌舞伎舞台、<br>○○会館(○○町)ほか<br>※市町名が分かるよう記載   | 総事業費<br>(令和3年度)  | 250,000 円  |
| 事業区分<br>(該当欄に○)  | 事業区分   | 1 新規 2 拡充 3 継続(R元、R2年度当補助事業)   |  |
|                  | 事業分野   | ① 地域に根ざした伝統文化に関する事業<br>2 地域の文化資源を生かして実施する美術、音楽、演劇、<br>舞踊、生活文化、文芸、伝統芸能等 |  |
| 事業の<br>趣旨・目的     | 平成7年を最後に途絶えていた○○町の農村歌舞伎を、地域住民の手に<br>より復活させ、公演を行うことにより、若い世代に地域の伝統芸能の素晴ら<br>しさを伝えるとともに、県内外に発信を行う。  |  |  |
| 事業の内容<br>(令和3年度) | ・住民有志による実行委員会の立ち上げ<br>・衣装、小道具の復元、制作<br>・演技指導者を迎えての練習<br>・住民向けのワークショップ開催  |  |  |
|                  | [上記「事業区分」欄で「2 拡充」を選択した場合のみ記載]<br>1 拡充の目的及び拡充内容<br>2 従来実施事業との予算規模の比較<br>従来実施事業 _____ 円 / 今回申請事業 _____ 円   |  |  |
| 入場者数             | 150 人  | 入場料等   | 0 円  |
| 関係書類             | <input type="checkbox"/> 収支予算書(別記)<br><input type="checkbox"/> 別途「ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業(ふるさと文化の伝承・<br>発信サポート事業)実施要領」に定める資料<br><input type="checkbox"/> その他参考資料 |  |  |

## 収支予算書（令和3年度）

1 収入の部

（単位：円）

| 科 目                  | 予 算 額   | 摘 要  |
|----------------------|---------|--|
| 入 場 料                | 0       |  |
| 県補助金交付申請額            | 150,000 |  |
| 県以外の公的助成、<br>寄附金・協賛金 | 50,000  | 〇〇町による農村舞台の補修費助成30,000円<br>地元住民からの寄付金20,000円 |
| 広 告 料                | 0       |  |
| そ の 他 収 入            | 0       |  |
| 自 己 負 担 金            | 50,000  |  |
| 合 計                  | 250,000 |  |

修正液・訂正印等による数字・文字の修正は認められません。

（別紙2）の総事業費と一致させてください。

2 支出の部

| 科目     | 費 目         | 予 算 額   | 摘 要     |                                    |
|--------|-------------|---------|---------|------------------------------------|
| 補助対象経費 | 事業開催経費      | 会場費     | 30,000  | 練習・ワークショップ 用会場借り上げ費<br>@3,000円×10回 |
|        |             | 舞台費     | 30,000  | 衣装レンタル費                            |
|        |             | 謝金      | 15,000  | 演技指導者への謝金                          |
|        |             | 用具費     | 75,000  | 用具整備費                              |
|        |             | 小計 A    | 150,000 |                                    |
|        | 事業運営経費      |         | 40,000  | チラシ作成費・印刷費                         |
|        |             | 発送費     | 10,000  | チラシ発送費等                            |
|        |             | 小計 B    | 50,000  |                                    |
|        | 小計(A+B)     |         | 200,000 |                                    |
|        | その他事業にかかる経費 |         | 50,000  | 用具整備費(超過分)                         |
| 合 計    |             | 250,000 |         |                                    |

手引き P.3 の補助対象経費の表を参考にご記入ください。特に、「事業開催経費」と「事業運営経費」の区別に注意してご記入ください。

同額となるようにしてください。

補助申請額の1/2まで

必ず、補助対象経費以外にかかる経費の内訳をできるだけ詳しくご記入ください。

（別紙2）の総事業費と一致させてください。

（注）収支の計はそれぞれ一致する。

(様式1-1)

ふるさと文化の伝承・発信サポート事業  
事業の全体計画書

|         |   |      |   |     |       |
|---------|---|------|---|-----|-------|
| 事業名     | (フリガナ) ○○チョウノウソンカブキフッカツコウエンジギョウ                         |      |   |     |       |
|         | ○○町農村歌舞伎復活公演事業  |      |   |     |       |
| 実施期間    | 令和3年4月12日(月) ~ 令和4年1月28日(金)<br>補助申請 ( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 ) |      |   |     |       |
| 事業全体の内容 | 1年目   | 内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民有志による実行委員会の立ち上げ</li> <li>・ 衣装、小道具の復元、制作</li> <li>・ 演技指導者を迎えての練習</li> <li>・ 住民向けのワークショップ開催</li> </ul> |     |       |
|         |   | 実施場所 | ○○町○○地区公民館ほか  |     |       |
|         |   | 実施期間 | 令和3年4月~令和4年1月   | 事業費 | 250千円 |
|         | 2年目   | 内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公演練習</li> <li>・ 公演の広報宣伝</li> <li>・ 復活公演の開催(本番)</li> <li>・ 記録作成</li> </ul>                              |     |       |
|         |   | 実施場所 | ○○町農村歌舞伎舞台、○○町文化会館  |     |       |
|         |   | 実施期間 | 5月以降、随時   | 事業費 | 400千円 |
|         | 3年目   | 内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい演目の練習</li> <li>・ 公演の広報宣伝</li> <li>・ 第2回公演の開催(本番)</li> <li>・ 記録作成</li> <li>・ 県内他市町での公演</li> </ul>    |     |       |
|         |   | 実施場所 | 未定  |     |       |
|         |   | 実施期間 | 未定  | 事業費 | 600千円 |

7月末までに事業に着手する場合は、事前着手承認申請書を提出してください。

2、3年目も、実施予定の事業内容をご記入ください。

1、2、3年目と拡充していく事業内容であることが望ましいです。

|              |                   |   |
|--------------|-------------------|---|
|              | 地域の文化資源の活用について    | <p>〇〇町では、江戸時代から農村歌舞伎が盛んであり、〇〇神社境内には県指定文化財でもある〇〇農村歌舞伎舞台があり、古くからここを舞台に様々な祭礼が執り行われていた。</p> <p>近年では、昭和55年から平成7年まで年に一度、住民有志による農村歌舞伎公演が行われていたが、その後、後継者難等の理由により公演活動は行われていない。</p> <p>しかし、現在においても住民の歌舞伎公演にかける思いは強く、経験者も健在なことから、今回、復活公演を行うことで、経験者のノウハウを次世代に引き継ぐことが期待できる。</p> <p>また、県指定文化財でもある農村歌舞伎舞台を公演会場として取り入れることにより、他の会場では実現できない昔ながらの農村歌舞伎の魅力をアピールできる。</p> |
| 事業の<br>アピール点 | 地域による参画<br>協働について | <p>過疎化が進む〇〇町では、若者の町外流出も多く、郷土に対する愛着も年々希薄になっていることが懸念されている。</p> <p>本事業では、歌舞伎開催経験のある高齢者の経験や智恵を、若い世代、特に次代を担う青少年へ伝えることを基本とし、地域住民、保存会に加え、〇〇町文化会館、〇〇町商工会、〇〇町観光協会の支援も得るなど、〇〇町全体の参画により実施し、住民自らがふるさとの魅力を再確認するきっかけとしたい。</p>   |
|              | 事業の発信性<br>について    | <p>〇〇農村歌舞伎舞台は県指定文化財であり、ここを会場にすることで、通常のホールでは得られない農村歌舞伎本来の魅力を、地域住民のみならず都市住民にも発信できる。</p> <p>また、今回の公演の演目である「▽△〇〇」は〇〇町で江戸時代から演じられていたものであり、他では演じられていないことから、公演が実現すれば、全国でも約20年ぶりの公演となり、農村歌舞伎ファンの注目を集めるものと考えられる。</p> <p>また、農村歌舞伎舞台と〇〇町文化会館との2会場構成にすることによって、農村歌舞伎の様々な魅力を伝えることができる。</p>  |
|              | その他               | <p>将来的には、町内に残る他の複数の農村歌舞伎舞台との連携による事業展開も検討したい。</p>  |

①どのような文化資源か、  
②現在の状況、活用方法、  
③活用により期待される  
効果等をご記入ください。

事業に関わられている  
地域の団体等について  
例の様にご記入ください。

(様式2)

## 申 請 者 概 要

|  |  |                         |               |               |    |       |
|--|--|-------------------------|---------------|---------------|----|-------|
| 団 体 名  | (フリガナ) ○○チョウノウソンカブキジッコウイインカイ   |                         |               |               |    |       |
|  | ○○町農村歌舞伎実行委員会  |                         |               |               |    |       |
| 代 表 者  | 職名   | 会長                      | (フリガナ) ○○ タロウ | 氏名            |    | ○○ 太郎 |
|  | 住所   | 〒000-0000 ○○市○○町○○1-1-1 |               |               |    |       |
|  | 電話   | (000)000-0000           |               |               |    |       |
| 事 務 局<br>(連 絡 先)   | 職名   | 事務局長                    | (フリガナ) ○○ ハナコ | 氏名            |    | ○○ 花子 |
|  | 住所   | 〒000-0000 ○○市○○町○○1-1-2 |               |               |    |       |
|  | 電話   | (000)000-0000           | FAX           | (000)000-0000 |    |       |
|  | E-mail   | ○○○@○○○.○○.○○           |               |               |    |       |
| 会計担当者  | 氏名   | △△ 花子                   |               |               |    |       |
| 会 計 監 事  | 氏名   | ▲▲ 次郎                   |               |               |    |       |
| 設立年月日<br>(予定含む)  | 令和3年4月1日   | 構成員                     | 20人           | 会 費           | 0円 |       |
| 会 員 資 格<br>(地域住民参画<br>による実行委<br>員会の場合は、<br>主な構成員・<br>団体など) | ○○町在住で、○○農村歌舞伎の開催に賛同する者<br>(主な構成員の予定)<br>・○○町○○区自治会<br>・○○農村歌舞伎保存会<br>・○○町住民有志 |                         |               |               |    |       |
| 主な活動歴  | 昭和55年 月  | ○○町農村歌舞伎保存会として活動(～平成7年) |               |               |    |       |
|  | 令和3年4月   | 住民有志により農村歌舞伎復活公演の協議開始   |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
| 主な受賞歴  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |
|  | 年 月  |                         |               |               |    |       |

※ 既存団体については、規約(会則、会員名簿等)及び過去の活動実績に関する資料(プログラム、チラシ等)を添付してください。

※ 今後実行委員会等を設立する団体については、規約案(会則、会員名簿等)を添付してください。

**7月末までに事業に着手する団体はご提出ください。**

ふるさと文化の伝承・発信サポート事業 事前着手承認申請書

令和 年 月 日

兵庫県企画県民部知事公室芸術文化課長 様

日付けは空けて  
ください。

住 所

団 体 名

代表者名

電 話

電子メール

補助金交付申請書と同じ住所、団体名、  
代表者、連絡先をお願いします。  
(押印は不要です。)

標記の事業について、下記のとおり事前着手したいので、事前着手の承認を申請します。

記

1 実施主体

2 事業の着手予定年月日 令和 年 月 日

3 事業の完了予定年月日 令和 年 月 日

日付けは空けて  
ください。

4 事前着手を必要とする理由

5月に農村歌舞伎復活公演の協議を開始し、6月に〇〇市の農村歌舞伎の  
先進地である〇〇市へ行き研修を行ったり、農村歌舞伎に必要な道具などを  
購入、作成、修理したりする必要があるため、事前着手を必要とします。



通帳写し貼付用紙

表紙 貼付

見開き 1 ページ

令和 年 月 日

## 委 任 状

※振込口座名義が団体名義以外の場合にご提出ください。

兵庫県知事様

令和3年度ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業(ふるさと文化の伝承・発信サポート事業)補助金に対する受け取り業務を\_\_\_\_\_を代理人と定め、全ての権限を委任します。

所在地

団体名

代表者氏名

印

**交付決定後、内容に変更等が生じた場合にご提出ください。**

様式第3号（第7条関係）

補助金変更交付申請書

第 号  
令和 年 月 日

兵庫県知事 様

補助金交付申請書と同じ住所、団体名、  
代表者、連絡先をお願いします。  
(押印は不要です。)

住 所  
団 体 名  
代表者名  
電 話 ( ) ー 番  
電子メール

令和 年 月 日付け芸第 号により補助金交付決定通知のあった令和  
3年度ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業(ふるさと文化の伝承・発信サポー  
( 円)  
ト事業)の内容を下記のとおり変更し、補助金 円の交付を受けたいの  
で、承認願いたく補助金交付要綱第7条第1項の規定に基づき、申請します。

記

変更の理由

以下補助金交付申請書の様式に準じる。

※ 補助金の額を変更する場合は、変更前の額を上段に( )書で記入し、変更  
後の額をその下段に記入すること。

交付決定後、内容に変更等が生じた場合にご提出ください。

別 記

## 収支予算書（令和3年度）

### 1 収入の部

(単位:円)

| 科 目                  | 予 算 額 | 摘 要 |
|----------------------|-------|-----|
| 入 場 料                | ( )   |     |
| 県補助金交付申請額            | ( )   |     |
| 県以外の公的助成、<br>寄附金・協賛金 | ( )   |     |
| 広 告 料                | ( )   |     |
| そ の 他 収 入            | ( )   |     |
| 自 己 負 担 金            | ( )   |     |
| 合 計                  | ( )   |     |

### 2 支出の部

|                            | 科目                     | 費 目  | 予 算 額 | 摘 要 |
|----------------------------|------------------------|------|-------|-----|
| 補<br>助<br>対<br>象<br>経<br>費 | 事業<br>開<br>催<br>経<br>費 |      | ( )   |     |
|                            |                        |      | ( )   |     |
|                            |                        |      | ( )   |     |
|                            |                        |      | ( )   |     |
|                            |                        | 小計 A | ( )   |     |
|                            | 事業<br>運<br>営<br>経<br>費 |      | ( )   |     |
|                            |                        |      | ( )   |     |
|                            |                        |      | ( )   |     |
|                            |                        | 小計 B | ( )   |     |
|                            | 小計 (A+B)               |      |       | ( ) |
| その他事業にかかる経費                |                        |      | ( )   |     |
| 合 計                        |                        |      | ( )   |     |

(注) 収支の計はそれぞれ一致する。

交付決定後、内容に変更等が生じた場合にご提出ください。

様式第5号（第8条関係）

補助事業中止（廃止）承認申請書

第 号  
令和 年 月 日

兵庫県知事 様

補助金交付申請書と同じ住所、団体名、代表者、連絡先をお願いします。  
（押印は不要です。）

住 所  
団 体 名  
代表者名  
電 話 ( ) ー 番  
電子メール

令和 年 月 日付け芸第 号により交付決定のあった令和3年度ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業（ふるさと文化の伝承・発信サポート事業）については、下記とおり中止（廃止）したいので、承認願いたく補助金交付要綱第8条第1項の規定に基づき、申請します。

記

1 中止（廃止）の理由

2 廃止予定年月日 令和 年 月 日

中止予定期間 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

交付決定後、事業が完了した後  
にご提出ください。

様式第8号（第11条関係）

補助事業実績報告書

第 号  
令和 年 月 日

兵庫県知事様

補助金交付申請書と同じ住所、団体名、  
代表者、連絡先をお願いします。  
（押印は不要です。）

住 所  
団 体 名  
代表者名  
電 話 ( ) 番  
電子メール

令和 年 月 日付け芸第 号により交付決定のあった令和3年度ひょうご  
のふるさと芸術文化活動推進事業(ふるさと文化の伝承・発信サポート事業)を下記のとおり  
実施したので、補助金交付要綱第11条の規定に基づき、その実績を報告します。

記

1 事業の内容及び経費区分（別記）

2 事業の着手年月日 ( 令和 年 月 日 )  
( 令和 年 月 日 )

事業の完了年月日 ( 令和 年 月 日 )  
( 令和 年 月 日 )

日付等は空欄のまま  
で提出。

3 添付書類

(注) 申請内容を上段に ( ) 書きで記入し、実績をその下段に記入する。

交付決定後、事業が完了した後  
にご提出ください。

(別紙3)

ふるさと文化の伝承・発信サポート事業  
補助事業実績報告書（令和3年度事業）

|                     |  |                 |                       |
|---------------------|--|-----------------|-----------------------|
| 事業名                 | (フリガナ)   |                 |                       |
| 主催者                 | (フリガナ)<br>日付は空欄で提出してください。  |                 |                       |
| 事業期間<br>(令和3年度)     | 令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )  |                 |                       |
| 会場                  | ※市町名が分かるよう記載してください   | 総事業費<br>(令和3年度) | 240,000 円             |
| 事業の<br>趣旨・目的        | (別紙2)事業計画書の「事業の<br>趣旨・目的」を転記してください。  |                 | 別記「収支決算書」<br>の合計額を記入。 |
| 事業の内容               | ① 事業の具体的内容、出演者や参加者の状況等について記載するとともに、別途チラシ、<br>写真等を添付してください。<br>② 写真、練習に用いた資料なども添付してください。  |                 |                       |
| 事業の効果               | ※地域の文化資源を生かした事業を実施した結果、地域にどのような効果があったか、簡潔に記載してください。  |                 |                       |
| 今後の<br>事業展開<br>について | ※来年度以降に実施する事業について、記載してください。  |                 |                       |
| 入場者数                | 人  | 入場料等            | 円                     |
| 関係書類                | <input type="checkbox"/> 収支決算書（別記）<br><input type="checkbox"/> 当該事業のプログラム、チラシ等広報印刷物<br><input type="checkbox"/> その他資料（補助対象経費にかかる領収書、明細書） |                 |                       |

交付決定後、事業が完了した後  
にご提出ください。

別 記

収支決算書（令和3年度）

1 収入の部

(単位:円)

| 科 目                  | 決 算 額                | 摘 要 |
|----------------------|----------------------|-----|
| 入 場 料                | ( )                  |     |
| 県補助金交付申請額            | (150,000)<br>150,000 |     |
| 県以外の公的助成、<br>寄附金・協賛金 | ( 50,000)<br>50,000  |     |
| 広 告 料                | ( )                  |     |
| そ の 他 収 入            | ( )                  |     |
| 自 己 負 担 金            | ( 50,000)<br>40,000  |     |
| 合 計                  | (250,000)<br>240,000 |     |

※修正液・訂正印等による数字・文字  
の修正はしないでください。  
※「事業開催経費」と「事業運営経費」  
の予算額からの大幅な増減がある  
場合は、先にご相談ください。

(別紙3)の総事業費と  
一致させてください。

2 支出の部

|                            | 科目                         | 費 目  | 決 算 額                | 摘 要                  |
|----------------------------|----------------------------|------|----------------------|----------------------|
| 補<br>助<br>対<br>象<br>経<br>費 | 事<br>業<br>開<br>催<br>経<br>費 | 会場費  | ( 30,000)<br>30,000  | 練習・ワークショップ会場使用料      |
|                            |                            | 舞台費  | ( 30,000)<br>30,000  | 衣装レンタル代              |
|                            |                            | 謝金   | ( 15,000)<br>15,000  | 指導者への謝金              |
|                            |                            | 用具費  | ( 75,000)<br>65,000  | 行灯など                 |
|                            |                            | 小計 A | (150,000)<br>140,000 |                      |
|                            | 事<br>業<br>運<br>営<br>経<br>費 | 印刷費  | ( 40,000)<br>42,000  | 案内チラシ印刷              |
|                            |                            | 発送費  | ( 10,000)<br>8,000   | チラシ発送代               |
|                            |                            |      | ( )                  |                      |
|                            |                            | 小計 B | ( 50,000)<br>50,000  |                      |
|                            | 小計 (A+B)                   |      |                      | (200,000)<br>190,000 |
| その他事業にかかる経費                |                            |      | ( 50,000)<br>50,000  | デジタルカメラ購入等           |
| 合 計                        |                            |      | (250,000)<br>240,000 |                      |

同額となるように  
してください。

(別紙3)の総事業費と  
一致させてください。

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。  
2 県補助金は、見込額を記入する。  
3 申請時の予算額を上段に ( ) 書き、下段に決算額を記入する

# 補助金請求書

金 150,000 円也

ただし、令和3年度ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業  
(ふるさと文化の伝承・発信サポート事業)として

|          |                   |            |
|----------|-------------------|------------|
| 補助金交付決定額 | <u>記入しないでください</u> | 円 (概算払のとき) |
| 補助金確定額   | 150,000           | 円 (精算払のとき) |
| 既受領額     | <u>記入しないでください</u> | 円          |
| 今回請求額    | 150,000           | 円          |

※空欄のままに  
しておいてください

|      |             |                               |
|------|-------------|-------------------------------|
| <根拠> | 補助金交付決定通知   | 〔 芸第 号<br>令和 年 月 日 〕 (概算払のとき) |
|      | 補助金交付決定変更通知 | 〔 芸第 号<br>令和 年 月 日 〕 (概算払のとき) |
|      | 補助金確定通知     | 〔 芸第 号<br>令和 年 月 日 〕 (精算払のとき) |

上記のとおり、補助金を精算（概算）払いによって交付されたく、令和3年度補助金  
交付要綱第14条第1項（第2項）の規定に基づき請求します。

令和 年 月 日

兵庫県知事様

※空欄のままに  
しておいてください

請求者

住所  
団体名  
代表者名

押印は不要です

団体内において経理事務の権限の委任を受けた方

発行責任者

氏名  
電話 ( ) - 番  
電子メール

本事業に関する事務を担当する方  
発行責任者と同一でも可

担当者

氏名  
電話 ( ) - 番  
電子メール

(別紙4)

財 産 管 理 台 帳

| 名 称   | 形状<br>寸法 | 数量 | 単価       | 取得金額     | 処分制限期間 |         | 処分の状況 |       | 備 考 |
|---|----------|----|----------|----------|--------|---------|-------|-------|-----|
|   |          |    |          |          | 耐用年数   | 処分制限年月日 | 処分の類別 | 処分年月日 |     |
| 地車  | (寸法など)   | 1  | 880,000円 | 880,000円 | 5年     | 令和8年8月  |       |       |     |
| <p>補助事業で取得した物品（又は効用の増加した財産）で <u>50万円以上</u>のものについては、「財産管理台帳」に記入し、実績報告書とともに提出いただく必要があります。</p> <p>取得した物品を目的外で使用・譲渡・交換、貸し付け又は担保に供する場合は、知事の承認を受けなければならない、その<u>処分制限期間（※）</u>の間、「財産管理台帳」の保存が必要です。</p> <p>※主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神輿、地車など（5年）</li> <li>・ 衣装、かつら、小道具、大道具など（2年）</li> <li>・ 楽器（5年）</li> </ul> |          |    |          |          |        |         |       |       |     |
| 合 計   |          | 1  | 880,000円 | 880,000円 |        |         |       |       |     |

25

- (注) 1 処分制限年月日欄には、処分制限の終期を記入すること。  
 2 処分の状況欄には、譲渡、交換、貸付、担保提供等の別を記入すること。  
 3 備考欄には、譲渡先、交換先、貸付先及び抵当権等の設定権者の名称を記入すること。